

防災と減災のために 必要なこととは？



公助

国や都道府県、市町村などが被災者の救助や支援を行うこと

都市計画の段階から防災を重視した設計を取り入れる

消防、自衛隊、警察の派遣

市民の人数を数えておく

避難所への食糧の供給

電気、水道、ガスの復旧作業

避難所で、人々が過ごすための、段ボールなどの用意

公共施設の防災の備え

県民を対象とした防災出前講座

食料の炊き出しや、配る

地区別の避難ルールづくり 自主防災組織の活動

ボランティア団体などの助け

防災の現状ラジオ

高齢者・障がい者など「避難行動要支援者」の名簿づくりと声かけ

ハザードマップの作成

地震や津波が来たことを想定して避難訓練

日々避難訓練をしておく

近所での助け合い

近所同士の安否確認

窓などのガラスの補強

家の中で命を落とさない備え

棚の固定

ハザードマップの確認

日々ガスや電気が切れていないか確認する
避難するときに持っていくものを決めておく

防犯ブザー、笛

避難場所や集合場所を決めておく

日々逃げるところを確認しておく

まだ逃げていない人がいないか、呼びかける

避難ルートの確認

防災バッグを作る

体の不自由な人を助ける

避難ルートを確認し何分かかるか想定しておく
まずは自分自身の安全確保

マイナンバーカードや身分証明書を持つ

どこに逃げるのかなど疑問点を相談し合える

自分自身や家族を守ること

自助

共助

住民どうしが協力して助け合うこと